



## SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0 の用語集

■ SAP BusinessObjects Enterprise XI 4.0

2010-11-23

## 著作権

© 2010 SAP AG. All rights reserved. SAP、R/3、SAP NetWeaver、Duet、PartnerEdge、ByDesign、SAP Business ByDesign、および本書に記載されたその他のSAP製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、ドイツおよびその他の国々におけるSAP AGの商標または登録商標です。Business ObjectsおよびBusiness Objectsロゴ、BusinessObjects、Crystal Reports、Crystal Decisions、Web Intelligence、Xcelsius、および本書で引用されているその他のBusiness Objects製品、サービス、ならびにそれぞれのロゴは、米国およびその他の国々におけるBusiness Objects S.A.の商標または登録商標です。Business ObjectsはSAPのグループ企業です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。本書に記載されたデータは情報提供のみを目的として提供されています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書の内容は、予告なしに変更されることがあります。また、これらの文書はSAP AGおよびその関連会社(「SAPグループ」)が情報提供のためにのみ提供するもので、いかなる種類の表明および保証を伴うものではなく、SAPグループは文書に関する誤記・脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAPグループの製品およびサービスに対する唯一の保証は、当該製品およびサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。

2010-11-23

# 目次

第 1 章	SAP BusinessObjects Explorer 用語集.....	5
第 2 章	ダッシュボードおよびビジュアライゼーションの用語集.....	11
第 3 章	Dashboard Design と Presentation Design の用語集.....	15
第 4 章	SAP BusinessObjects Enterprise の用語集.....	19
第 5 章	インフォメーションデザインツールの用語集.....	29
第 6 章	BI ワークスペースの用語集.....	33
第 7 章	SAP BusinessObjects Mobile の用語集.....	35
第 8 章	SAP Crystal Reports 2011 の用語集.....	37
第 9 章	データフェデレーション管理ツールの用語集.....	41
	索引	45



## SAP BusinessObjects Explorer 用語集

### CMS アドオン

Polestar のインストール中に CMS に追加される、必要なコンポーネント。

### Ctrl クリック

アプリケーション内で複数の値を選択する方法。この操作は、Ctrl キーを押しながらマウスを使用して行います。

### PDF

異なるシステム間で配布されるときに、ドキュメントのレイアウトを保持するドキュメント形式。「Portable Document Format」も参照してください。

### PDF形式

異なるシステム間で配布されるときに、ドキュメントのレイアウトを保持するドキュメント形式。「PDF」も参照してください。

### SAP キー数値

単位ディメンションと合わせてメジャーとして Polestar 内で解釈される SAP オブジェクト。

### SAP キー日付

ディメンション用に取得するデータに影響する時間依存のオブジェクト。

### SAP 変数

Polestar 内でフィルタとして解釈される SAP オブジェクト。たとえば、キー日付、テスト、通貨などです。

### Web アプリケーション サーバー コンポーネント

Polestar の Web Application Server に必要なコンポーネント。

### Web サーバー

インターネットまたはイントラネット上で Web ページを処理するマシンまたはアプリケーション。Web サーバーは、ページ、スクリプト、プログラム、およびマルチメディア ファイルをホストし、クライアント Web ブラウザにファイルを送信する HTTP を使用してこれらのファイルを処理します。

### アプリケーション サーバー

オペレーティング システムとユーザーのアプリケーション プログラム間のインターフェイスを提供するソフトウェア。

### インデックス

ユニバース、情報スペースのデータを並べ替え、容易な検索および取得に適したキャッシュに変換するプロセス。

### オブジェクト

[情報スペースの作成]ダイアログおよび[情報スペースの変更]ダイアログ内のタブ。情報スペースを構成するユニバース オブジェクトの選択および変更に使用します。

### カテゴリ ファセット

[閲覧]タブ内で使用可能なファセットの種類。カテゴリ ファセットはグループ化されており、カテゴリおよびその値を選択できます。カテゴリファセットを使用して、データに適用するフィルタを追加できます。カテゴリ ファセットは、提案されたり選択したりできます。

### キーワード検索

入力した単語を含むデータを検索できる方法。

### グラフの種類

分析タイプの下にカテゴリ化されるチャート。たとえば、比較分析タイプには縦棒チャートが含まれます。

### コンテンツ検索ファセット

キーワードによるコンテンツ検索を支援するために使用されるファセットのタイプ。ファセット制約は、使用されるキーワードに基づきます。

### スケジュール

繰り返し行われる情報スペースのインデックス化。管理者は、[アドミン]タブで、毎日などスケジュールを実行する頻度を選択できます。

### スコア

検索語によって異なる、オブジェクトの関連度。たとえば、“ワインの売上げ”を検索すると、関連度のスコア順に結果が表示されます。スコア 5 は、そのオブジェクトの“ワインの売上げ”との一致率が非常に高いことを示し、スコア 1 は、一致率が低いことを示します。

### スペースの管理

情報スペースの作成など Polestar の管理を実行できるタブ。

### タブ

[管理]、[検索結果]など、独立した Polestar の主題が含まれるナビゲーション枠。他のタブと共に使用され、マウス クリックで他のタブに切り替えることができます。一度に開くことができるタブは 1 つのみです。

### ツールヒント

説明テキストが表示される、小型のポップアップ ウィンドウ。

### データ テーブル

テーブルに表示される、Polestar 内の情報スペースの生データ。

### データベース

ソフトウェア プログラムに格納されて整理される蓄積されたデータ。

### ビジュアライゼーション

特定のパターンが顕著になるように生データを表示する方法。たとえば、チャート、テーブルなどです。

### ファセット

ユーザーが使用可能な値(ラベル)の集合。カテゴリに基づいてコンセプトをグループ化します。たとえば、音楽ライブラリのジャンルファセットには、ロックンロール、クラシック、ポップなどの値が組み込まれています。データ レコード フィールドまたは属性にマップされることもあります。

### ファセットによるナビゲーション

ファセット ラベルを選択することによって、オブジェクトの集合からナビゲートできる機能。ファセットによるナビゲーションには、ラベルを選択して検索結果を絞り込む、ファセットおよびラベルを特

定の順番に表示してユーザを誘導する、ファセットおよびラベルによって空の結果が表示されないようにする、という機能があります。

#### フォルダ

オブジェクトを格納する場所。

#### ブレッドクラム

閲覧のビジュアルパス。

#### プロパティ

[情報スペース]ダイアログ内のタブ。情報スペースのプロパティの表示、作成、および変更に使用します。

#### ホーム

Polestar 内での検索を実行できるタブ。このタブは、Polestar へのエントリポイントです。

#### ラベル

ファセット内の値。たとえば、“年”ファセットの値として、2004、2005、2006、2007 が考えられます。

#### ログオフ

ユーザーがアプリケーション内のセッションを終了する手順。

#### ログオン

ユーザーが自身をユーザー名、パスワード、および認証の種類で識別することにより、アプリケーション内でセッションを開始する手順。

#### ロケール

ユーザー環境の定義。時間書式、数値書式、通貨など環境の文化および言語に合わせて表記方法を指定します。

#### 作成権限

Polestar 内に情報スペースを作成できるかどうかを決定するセキュリティのレベル。

#### 候補ファセット

ナビゲーションに使用可能なカテゴリファセット。情報スペース内で使用されるオブジェクトに対応します。候補ファセットには、まだ選択していないものの、検索対象となり得るファセットが表示されます。

#### 傾向変動分析タイプ

データの傾向変動を表示するために使用される分析タイプ。

#### 凡例

チャートに基づいてデータを表示する[閲覧]タブ内のデータグリッド。チャートに表示されるメジャーおよびディメンションに対応し、分析に使用できます。

#### 分析タイプ

データを表示して分析を実行するためのビジュアライゼーション。たとえば、比較分析タイプは、値の差異を表示する場合に使用されます。

#### 制御

コンピュータのキーボード上のキー。

#### 区切り線

枠項目のサイズを変更するためにアプリケーション内で使用されるコントロール。

### 寄与率分析タイプ

たとえば、円グラフなどの、値の分布の表示に使用される分析タイプ。

### 強調表示

データまたはオブジェクトがはっきり見えるように表示すること。

### 情報スペースの所有者

情報スペースを作成した Polestar ユーザー。スペースの所有者です。

### 検索エンジン

インターネット上の情報および Web サイトの検索に使用される Google、AltaVistaなどのソフトウェア。

### 検索サーバー

Polestar フレームワークの一部であり、検索クエリーを処理するサーバー。

### 検索結果

[ホーム]タブ内で実行される検索の結果を表示するタブ。ファセットを使用し、キーワード検索をさらに実行して、より関連度の高い資産または情報スペースを取得できます。

### 検索語句

検索に使用されるキーワードで構成される語句。

### 比較分析タイプ

縦棒チャートなどのチャートで値の差異を表示する場合に使用される分析タイプ。

### 管理者権限

Polestar を管理できるかどうかを決定するセキュリティのレベル。

### 表示権限

アプリケーション内で表示できる、または表示できないものを決定するセキュリティのレベル。たとえば、特定の資産またはスペースの表示などです。

### 計数ファセット

Polestar 内の計数を表すファセットの種類。クリックして値を選択すると、ビジュアライゼーションに影響を及ぼします。

### 認証の種類

ユーザーの識別情報とユーザーがオブジェクトにアクセスする資格を検証すること。たとえば、Windows NT 認証などです。

### 選択ファセット

ナビゲーション中に使用可能なカテゴリ ファセット。情報スペース内で使用されるオブジェクトに対応します。候補ファセット内の値をクリックすると、表示されます。

### 閲覧インターフェイス

情報スペースの閲覧を可能にするユーザー インターフェイス。

### 閲覧ファセット

情報スペースのナビゲーションを支援するために使用されるファセットのタイプ。ファセット制約は、スペースのコンテキストに基づきます。

### 集計値

ユニバースの設計段階で None、Count、Sum、Min、Max、および Average などの集計方法を使用して作成される値。値は、計数に適用されます。



### [内訳]ボタン

選択した閲覧値の 1 つに対応する、[閲覧]タブ内のボタン。このボタンは、他の[内訳]ボタン内で使用され、ディメンションとメジャーに焦点を当てることができます。ボタンをクリックすると、ビジュアライゼーションが変化します。



## ダッシュボードおよびビジュアライゼーションの用語集

### Crystal Reports データコンシューマ接続

Crystal レポートに含まれるモデルが Crystal Reports から情報を取得できるようにするためのデータ接続タイプ。また、これは、Crystal Reports が Crystal Reports データを Dashboard Design モデルにバインドするためのメタデータを Flash (SWF) に埋め込みます。

### アートおよび背景コンポーネント

画像や色を使ってモデルの外観を改善するために追加される要素。

### カレンダーコンポーネント[カレンダーコンポーネント]

ユーザがデータ値を選択できるようにモデルに追加できるコネクタコンポーネント。このコンポーネントは、その他のコンポーネントカテゴリで使用できます。

### キャンバス

ユーザがコンポーネントを配置したり操作したりして、データの視覚的モデルを作成する主な作業領域。

### キャンバスコンテナコンポーネント

他のコンポーネントを含ませ、複数レイヤモデルを作成するためにモデルに追加できるコンポーネント。キャンバスコンポーネントにはアートまたは背景がなく、実行時にユーザに表示されません。

### コンテナコンポーネント

他のコンポーネントを含めたりグループ化したりできるようにモデルに追加できる要素。動的ディスプレイなどの他の機能をコンテナに適用すると、コンテナおよび、コンテナの中にグループ化されたすべてのコンポーネントに影響を与えます。

### コンボボックスコンポーネント

ドロップダウンリストを作成するためにモデルに追加できるセレクトコンポーネント。ユーザは、矢印をクリックしてオプションの垂直リストを表示し、リストから項目を選択します。

### コンポーネント

データを視覚的に表示するためにモデルに追加し、データにリンクできる視覚的要素。たとえば、チャート、メーター、マップ、セレクトなどです。

### コンポーネントブラウザ

ユーザがモデルに追加できるよう、製品で利用できるすべてのコンポーネントが表示されるパネル。

### ダイヤルコンポーネント

ダイヤルに似た単一値のコンポーネントで、変更して他のコンポーネントに影響を与えることができる変数を表します。ユーザは、ダイヤルを回して必要な値を選択します。

### チェックボックスコンポーネント

チェック済みとチェックなしの 2 つの状態をユーザが切り替えられるようモデルに追加できるセレクトコンポーネント。

#### チャートコンポーネント

ユーザが比較、パターン、傾向を簡単に表示できるよう、データの視覚的表示のためにモデルに追加できる要素。たとえば、棒チャート、円チャート、折れ線チャートなどです。

#### デュアルスライダコンポーネント

ユーザが値の範囲に沿ってマーカーを動かすことによって変数の値を調節できるようにするための単一値のコンポーネント。スライダコンポーネントに似ていますが、ダイヤルスライダでは、ユーザが変数の最小値と最大値の両方を調節できます。

#### データアニメーション

データの値が変化したときに動きを与えるチャートの機能。たとえば、棒チャートの場合は、データの変更に従って棒のサイズが徐々に拡大または縮小します。点ベースのチャートの場合は、データの変更に従って点が新しい位置までスライドします。

#### ビュレットチャート

凝縮された単純な形式で情報を表示するチャートで、垂直または水平の向きである場合があります。ビュレットチャートコンポーネントには、垂直または水平棒として表示される 1 つの主測度 (たとえば過去 1 年間の収益) があります。棒チャート上のマーカーは、目標またはパフォーマンス目標を示し、棒の背景の色調の変化は、低、標準、高などのパフォーマンスの定性的な範囲を示します。

#### モデル

関係が定量化されるインフルエンサ、目標、および母集団を含む予測計算エンジンのユーザー指定構成。

#### 埋め込みスプレッドシート

製品に埋め込まれた完全に機能する Excel スプレッドシートで、データのモデルを作成するためにコンポーネントにリンクできるデータを保存するために使用されます。

#### 接続最新表示ボタン

ユーザが実行時にデータ接続を手動で最新表示できるようにするためにモデルに追加できる要素。

#### 棒チャート

水平線または棒としてデータを表すか、一定期間または特定の値の範囲で 1 つ以上の項目を比較するチャート。たとえば、このチャートは、地域別の四半期の人数を表示するために使用できます。縦棒チャートや積み上げ棒チャートに似ています。

#### 組み合わせチャート

縦棒と折れ線の両方を使用して情報を表すチャートで、多くの場合、それらの値を値の範囲や折れ線で表示するために使用されます。たとえば、株式を表すには、折れ線系列には 1 年を通じた株価の履歴が表示され、縦棒チャートにはその株式の取引量が示されます。

#### 縦棒チャート

垂直線または縦棒としてデータを表すか、一定期間または特定の値の範囲で 1 つ以上の項目を比較するチャート。たとえば、このチャートは、地域別の四半期の人数を表示するために使用できます。棒チャートや積み上げ縦棒チャートに似ています。

#### 背景コンポーネント

視覚的な背景を追加し、視覚的に分割したり、関連するコンポーネントをグループ化したりするためにモデルに加えられる構築済みのアートワーク要素。コンテナコンポーネントは異なり、このコ

ンポーネントは、他のコンポーネントを保有したり含有したりせず、領域を視覚的に識別できるようにします。

#### 面チャート[メンチャート]

水平軸に沿った各点がデータポイントを示す、垂直および水平軸のあるチャート。各データポイントの実際の値は、垂直軸に対してプロットされます。系列ごとに、水平軸に対してプロットされたポイントをつなげて、色付きの領域が作成されます。このチャートは、株価や売上げ履歴などの傾向線を強調するモデルに使用します。積み上げ面チャートに似ています。



## Dashboard Design と Presentation Design の用語集

### Crystal Reports データコンシューマ接続

Crystal レポートに含まれるモデルが Crystal Reports から情報を取得できるようにするためのデータ接続タイプ。また、これは、Crystal Reports が Crystal Reports データを Dashboard Design モデルにバインドするためのメタデータを Flash (SWF) に埋め込みます。

### アートおよび背景コンポーネント

画像や色を使ってモデルの外観を改善するために追加される要素。

### カレンダーコンポーネント[カレンダーコンポーネント]

ユーザがデータ値を選択できるようにモデルに追加できるコネクタコンポーネント。このコンポーネントは、その他のコンポーネントカテゴリで使用できます。

### キャンバス

ユーザがコンポーネントを配置したり操作したりして、データの視覚的モデルを作成する主な作業領域。

### キャンバスコンテナコンポーネント

他のコンポーネントを含ませ、複数レイヤモデルを作成するためにモデルに追加できるコンポーネント。キャンバスコンポーネントにはアートまたは背景がなく、実行時にユーザに表示されません。

### コンテナコンポーネント

他のコンポーネントを含めたりグループ化したりできるようにモデルに追加できる要素。動的ディスプレイなどの他の機能をコンテナに適用すると、コンテナおよび、コンテナの中にグループ化されたすべてのコンポーネントに影響を与えます。

### コンボボックスコンポーネント

ドロップダウンリストを作成するためにモデルに追加できるセレクトコンポーネント。ユーザは、矢印をクリックしてオプションの垂直リストを表示し、リストから項目を選択します。

### コンポーネント

データを視覚的に表示するためにモデルに追加し、データにリンクできる視覚的要素。たとえば、チャート、メーター、マップ、セレクトなどです。

### コンポーネントブラウザ

ユーザがモデルに追加できるよう、製品で利用できるすべてのコンポーネントが表示されるパネル。

### ダイヤルコンポーネント

ダイヤルに似た単一値のコンポーネントで、変更して他のコンポーネントに影響を与えることができる変数を表します。ユーザは、ダイヤルを回して必要な値を選択します。

### チェックボックスコンポーネント

チェック済みとチェックなしの 2 つの状態をユーザが切り替えられるようモデルに追加できるセレクトコンポーネント。

#### チャートコンポーネント

ユーザが比較、パターン、傾向を簡単に表示できるよう、データの視覚的表示のためにモデルに追加できる要素。たとえば、棒チャート、円チャート、折れ線チャートなどです。

#### デュアルスライダコンポーネント

ユーザが値の範囲に沿ってマーカーを動かすことによって変数の値を調節できるようにするための単一値のコンポーネント。スライダコンポーネントに似ていますが、ダイヤルスライダでは、ユーザが変数の最小値と最大値の両方を調節できます。

#### データアニメーション

データの値が変化したときに動きを与えるチャートの機能。たとえば、棒チャートの場合は、データの変更に従って棒のサイズが徐々に拡大または縮小します。点ベースのチャートの場合は、データの変更に従って点が新しい位置までスライドします。

#### ビュレットチャート

凝縮された単純な形式で情報を表示するチャートで、垂直または水平の向きである場合があります。ビュレットチャートコンポーネントには、垂直または水平棒として表示される 1 つの主測度 (たとえば過去 1 年間の収益) があります。棒チャート上のマーカーは、目標またはパフォーマンス目標を示し、棒の背景の色調の変化は、低、標準、高などのパフォーマンスの定性的な範囲を示します。

#### 埋め込みスプレッドシート

製品に埋め込まれた完全に機能する Excel スプレッドシートで、データのモデルを作成するためにコンポーネントにリンクできるデータを保存するために使用されます。

#### 接続最新表示ボタン

ユーザが実行時にデータ接続を手動で最新表示できるようにするためにモデルに追加できる要素。

#### 棒チャート

水平線または棒としてデータを表すか、一定期間または特定の値の範囲で 1 つ以上の項目を比較するチャート。たとえば、このチャートは、地域別の四半期の人数を表示するために使用できます。縦棒チャートや積み上げ棒チャートに似ています。

#### 組み合わせチャート

縦棒と折れ線の両方を使用して情報を表すチャートで、多くの場合、それらの値を値の範囲や折れ線で表示するために使用されます。たとえば、株式を表すには、折れ線系列には 1 年を通じた株価の履歴が表示され、縦棒チャートにはその株式の取引量が示されます。

#### 縦棒チャート

垂直線または縦棒としてデータを表すか、一定期間または特定の値の範囲で 1 つ以上の項目を比較するチャート。たとえば、このチャートは、地域別の四半期の人数を表示するために使用できます。棒チャートや積み上げ縦棒チャートに似ています。

#### 背景コンポーネント

視覚的な背景を追加し、視覚的に分割したり、関連するコンポーネントをグループ化したりするためにモデルに加えられる構築済みのアートワーク要素。コンテナコンポーネントは異なり、このコンポーネントは、他のコンポーネントを保有したり含有したりせず、領域を視覚的に識別できるようにします。

#### 面チャート[メンチャート]



水平軸に沿った各点がデータポイントを示す、垂直および水平軸のあるチャート。各データポイントの実際の値は、垂直軸に対してプロットされます。系列ごとに、水平軸に対してプロットされたポイントをつなげて、色付きの領域が作成されます。このチャートは、株価や売上げ履歴などの傾向線を強調するモデルに使用します。積み上げ面チャートに似ています。



## SAP BusinessObjects Enterprise の用語集

### BI アナリスト

SAP BusinessObjects Enterprise アプリケーションに対する特定のアクセスレベルを持つロールで、通常はコンテンツデザイナーであるユーザに割り当てられます。

### BI ビューア

SAP BusinessObjects Enterprise アプリケーションに対する特定のアクセスレベルを持つロールで、通常はコンテンツコンシューマであるユーザに割り当てられます。

### BI 受信ボックス

SAP BusinessObjects Enterprise で、受信したメッセージの宛先と BI 起動パッドの他のオブジェクト。

### BI 起動パッド

ユーザとコンテンツ管理者向けに SAP BusinessObjects Enterprise の一部として配布される Web ベースのアプリケーション。

### BusinessObjects Enterprise Premium ソフトウェアのエンサイクロペディアコンポーネント

ビジネス インテリジェンス リファレンス ガイドを作成するための、BusinessObjects Enterprise 内のユーザー パネル。「エンサイクロペディア」も参照してください。

### Connection Server

Business Objects アプリケーションによるデータ ソース アクセスを管理するデータ アクセス レイヤ。

### Crystal Reports Viewer

コンピュータにローカルにインストールされるレポートビューア。BusinessObjects Enterprise に接続しないで、ダウンロードされた Crystal レポートを表示するために使用できます。

### DDK

既存のドライバがないデータソースのデータアクセスドライバを開発するために使用できる Java ベースのソフトウェアツールキット。「Driver Development Kit」も参照してください。

### Driver Development Kit

既存のドライバがないデータソースのデータアクセスドライバを開発するために使用できる Java ベースのソフトウェアツールキット。「DDK」も参照してください。

### FIPS 準拠モード

Federal Information Processing Standard (FIPS) に準拠したデータ処理セキュリティモード。

### JavaBean

Connection Server Driver Development Kit を使用して開発された Java コンポーネントであり、さまざまなデータ ソースへのアクセスを可能にします。

### JavaBean ドライバ

Driver Development Kit (DDK)を使用して開発された JavaBeans を管理するデータ アクセスドライバ。

#### LOV

ユニバースでオブジェクトに関連付けられるデータ値の集まりで、ユーザは、そのオブジェクトに対するフィルタの値を選択できます。「値の一覧」も参照してください。

#### measure

ユニバースで、1 つ以上のディメンションから派生した、通常は数値である値。

#### アクセス コントロール リスト

オブジェクトに対する権限を付与または拒否されたすべての主体の表示。

#### アクセス レベル

管理者によって決定された、複数のユーザーに適用できる定義済みの権限セット。

#### アクセス権

ユーザーまたはグループがオブジェクト(フォルダとカテゴリを含む)に対して実行できる操作。

#### アクセス権の変更権限

委任管理者が他の主体に対して、委任管理者が持たない権限を含む任意の権限を付与できる権限。

#### アクセス権の安全な変更権限

委任管理者が持っている権限だけを他の主体に付与できる権限。

#### アクセス権の範囲

オブジェクト、サブオブジェクト、またはその両方に権限が適用されるかどうかを定義する機能。

#### アラート

イベントが発生したことをユーザーに知らせるために発行されるメッセージ。

#### アラート

さまざまなアプリケーションを対象とし、イベントがトリガされた場合のユーザおよび管理者への通知に使用される機能。

#### アラート通知

アラートを通知するために購読者の電子メールまたは BI 受信トレイに送信される短いメッセージ。

#### イベント

オブジェクトをスケジュールおよび処理するための設定済みトリガーであり、スケジュールをより詳細に制御できます。これらのトリガーを設定して、指定されたパラメータが満たされた場合にレポートが処理されるようにすることができます。

#### イベント

システムでの発生を表すオブジェクト。

#### インデックス認識

データの取得を高速化する目的で、ユニバースがデータベーステーブルのキー列にクエリを生成できるようにするためのユニバース機能。

#### インフォメーションデザインツール

複数接続や階層ディメンションなどの追加機能を持ったユニバースを作成するために使用される SAP メタデータデザインツール。

### エイリアステーブル

ユニバーススキーマまたはデータファンデーションで、テーブル間の複数の結合パスを解決するために使用される別名の付いた標準テーブルのコピー。

### エンサイクロペディア

ビジネス インテリジェンス リファレンス ガイドを作成するための、BusinessObjects Enterprise 内のユーザー パネル。「BusinessObjects Enterprise Premium ソフトウェアのエンサイクロペディア コンポーネント」も参照してください。

### オブジェクト

BusinessObjects Enterprise リポジトリ内の項目。

### オープン ドライバ

Business Objects Driver Development Kit (DDK) を使用して開発されたデータ アクセスドライバ。

### カスタマイズ

動的コンテンツ ソースドキュメント内のデータをフィルタ処理して、受信者に関係のあるデータだけがパブリケーション インスタンスに表示されるようにするプロセス。

### カタログ

ソースから独立した SQL 式でリレーショナルデータソースを識別するための一意の名前。

### ガイド分析

レポートまたはオブジェクトがストーリーラインと呼ばれる設定済みの順序で配置される方法であり、ユーザーはこれに従ってオブジェクト間の接続を確認できます。

### キューブ

データが“ディメンション”(それぞれ顧客や製品ラインなどの情報を表す)および“メジャー”(売上、原価、利益など)に集計、統合、および格納される多次元または OLAP データベース。リレーショナル データベースなどの従来のデータ格納方法に比べて、必要な処理時間と格納領域を改善できます。

### キーの無効化

特定の暗号化キーからデータオブジェクトを切り離すために使用するキー。

### クラス

ユニバースで共通の目的を持つ関連オブジェクトを含むユーザが定義したフォルダ。

### クラスタキー

CMS リポジトリ内で暗号化キーを保護するために使用する暗号キー。

### コンテキスト

共通のビジネス上の目的を共有するクエリー内のオブジェクトのグループを定義したもの。

### ショートカット結合

2 つのテーブル間の代替パスを提供し、中間テーブルを考慮に入れない結合。

### スケジュール

オブジェクトをサーバーで実行するときに従う時間とオプションを指定すること。

### ストラテジ

インフォメーションデザインツールで、SAP NetWeaver BW インフォプロバイダのテーブルと結合の自動検知と、データファンデーションへの自動挿入。

## セマンティック レイヤ

データベースおよびユニバースから取得したデータとメタデータのセット。

## ソース ドキュメント

動的または静的コンテンツを含む、パブリケーション内のファイルまたはオブジェクト。多くの場合に、Crystal レポート、Desktop Intelligence ドキュメント、または Web Intelligence ドキュメントを表します。

## ソース 言語

ドキュメント、ユニバース、またはレポートが作成されたロケール。

## タイプ 固有 権限

特定のオブジェクト タイプに適用される権限であり、一般的なグローバルレベルで設定された対応する権限、または特定のオブジェクト タイプに対してのみ使用可能な権限を上書きします。

## ターゲット アナリティクス

表示またはストーリーラインに追加されている現在のオブジェクトに対し、ストーリーライン内の次のオブジェクト。

## ダッシュボード

ビジネスに関する情報を表示するアナリティクスとオブジェクトの Web ベースの表示であり、ビジネス アクティビティを視覚化、整理、および監視できます。「ビジネスダッシュボード」も参照してください。

## データ アクセス ドライバ

Connection Server とデータのソース間のアクセスを管理するデータベース固有のソフトウェア。

## データ アクセス ネットワーク レイヤ

ODBC や JDBC などのデータベース ミドルウェアのタイプ。「ネットワークレイヤ」も参照してください。

## データ セキュリティ プロファイル

データファンデーションで定義されたアクセス資格の集まりで、ユーザに割り当てられるとデータへのアクセスを保護します。

## データ ファンデーション

リレーショナルデータベースからテーブルおよび結合を定義するスキーマ。データファンデーションは、コンテキスト、プロンプト、計算列、およびその他の SQL 定義によって拡張され、ユニバースのビジネスレイヤの作成に使用されます。

## データ ファンデーション ビュー

データファンデーションでユーザが定義したテーブルと結合のサブセットの視覚的表示。

## データベース ミドルウェア

データへの API アクセスを提供する、ベンダー固有のデータベース コンポーネント。

## トランスレーション マネジメント ツール

Business Intelligence オブジェクト (ユニバース、レポート、ダッシュボードなど) のメタデータを翻訳するために使用するツール。旧称はトランスレーション マネージャでした。

## ドリル

レポートでのデータの表示方法を変更して、データがどこから取得されたかをより詳細に理解したり (“ドリル ダウン”)、データ セットをまとめることでデータを上位レベルで理解したり (“ドリル アップ”) できます。

## ドロワ

BI 起動パッドのナビゲーションパネルにある、展開と折り畳みが可能なペインで、ユーザはリポジトリ内をさまざまな方法で参照できます。

## ナビゲートパス

Interactive Analysis でドリル分析を実行するために使用する階層的に関連のあるディメンションの集まり。

## ネイティブフィルタ

インフォメーションデザインツールで、データファンデーションのテーブルおよび列(さらに特定の場合はビジネスレイヤ)を参照できるデータベース言語 (SQL など) で式を使用して作成されるフィルタ。ユニバースデザインツールでは条件と呼ばれます。

## ネットワーク レイヤ

ODBC や JDBC などのデータベース ミドルウェアのタイプ。「データアクセスネットワークレイヤ」も参照してください。

## ハイパーリンク

BusinessObjects Enterprise の外部にある Web サイトにリンクする InfoView オブジェクト。

## パブリケーション

パーソナライズされた動的コンテンツ ドキュメントと静的ドキュメントの集合であり、パブリッシャが指定した配信および処理メタデータに従って大量の受信者に配布されます。

## ビジネス ダッシュボード

ビジネスに関する情報を表示するアナリティクスとオブジェクトの Web ベースの表示であり、ビジネス アクティビティを視覚化、整理、および監視できます。「ダッシュボード」も参照してください。

## ビジネスセキュリティプロファイル

ビジネスレイヤのオブジェクトに定義されたアクセス資格の集まりで、ユーザに割り当てられるとユニバース内のオブジェクトを保護します。

## ビジネスフィルタ

ビジネスレイヤエディタで作成されたフィルタで、ビジネスレイヤ内のオブジェクトのみを含む式で作られています。

## ビジネスレイヤ

データベースの SQL 定義にマップされるオブジェクト (ディメンション、階層、メジャー、属性、定義済みの条件) の集まり。データファンデーションまたは OLAP キューブに作成されたビジネスレイヤ。ビジネスレイヤの基本的役割は、ユニバースとして公開される前にメタデータレイヤを定義して編成することです。

## ビジネスレイヤビュー

ビジネスレイヤでユーザが定義したフォルダとオブジェクトのサブセット。

## ビューア

InfoView でレポートおよびドキュメント オブジェクトを表示するためのアプリケーション。HTML ベースのビューアは、ユーザーのコンピュータにインストールされている必要はありませんが、ActiveX と Java ビューアはインストールされている必要があります。

## ピン

次回ユーザがログオンしたときに使用できるように、ドキュメントタブを恒久的に開いておくためのもの。

**ファミリ**

データファンデーションでテーブルを視覚的にグループ化するために使用されるテーブル表示プロパティのセット。

**フォールバックロケール**

優先表示ロケールでレポートまたはクエリオブジェクトが使用できない場合に使用されるロケール。

**プロファイル ターゲット**

パブリケーション内にパーソナライズされたデータ ビューを提供するために、プロファイルがフィルタ処理し、対話するデータ ソース。

**プロファイル値**

プロファイル内のユーザーまたはグループにマップされ、パブリケーション内のパーソナライズされたデータビューを判断する静的値、Crystal Reports 式、Web Intelligence 式、または Desktop Intelligence 式。

**メタデータ**

リレーショナル データベースのテーブル名と列名、または OLAP データベースのディメンション、階層、レベル、メンバーなどのデータがデータベースに格納される方法に関する情報。

**ユニバース**

技術的ではない用語を使ってユーザーにデータを示すデータ ソースの抽象化。

**ユーザー グループ**

グループ内のすべてのユーザーに影響する権限を割り当てることのできるユーザーの集合。ただし、これらの権限はケースごとに上書きできます。これにより、多数のユーザーの権限の設定が便利になります。

**リソース**

インフォメーションデザインツールで、たとえばビジネスレイヤ、データファンデーション、または接続など、ツールを使って構築した高レベルのメタデータオブジェクト。

**リソース**

トランスレーションマネジメントツールで、たとえばユニバース、レポートドキュメント、InfoObject、またはダッシュボードなど、翻訳できるあらゆるオブジェクト。

**ループ[ループ]**

結合によってスキーマまたはデータファンデーション内のテーブル間で複数のパスが作成される状況。

**レベル**

階層のルートから同じ距離にある階層のメンバーの集まり。

**レポート バースト**

ソースドキュメント データが更新され、受信者に対してパーソナライズされる、公開のプロセス。

**値の一覧**

ユニバースでオブジェクトに関連付けられるデータ値の集まりで、ユーザは、そのオブジェクトに対するフィルタの値を選択できます。「LOV」も参照してください。

**優先ロケール**

フォールバックリソースがリソースに定義されていない場合に使用される定義済みのフォールバックロケール。



**優先表示ロケール**

フォールバックリソースがリソースに定義されていない場合に使用される定義済みのフォールバックロケール。

**優先表示ロケール**

アプリケーションでレポートとクエリオブジェクトを表示するためのユーザの優先ロケール。

**公開ウィザード**

BusinessObjects Enterprise にオブジェクトを迅速に公開し、公開する各オブジェクトのオプションの数を指定できるアプリケーション。

**分析ディメンション**

.unx ユニバースで、分析の軸を表す同じタイプのユニバースの集まりで、多くの場合、階層分析を行うために使用されます。

**動的受信者**

BusinessObjects Enterprise システムの外部に存在するパブリケーション コンシューマ。

**動的受信者ソース**

動的受信者とその ID、名前、および電子メール アドレスのリストを提供するオブジェクト。このオブジェクトとして、Crystal レポート、Desktop Intelligence ドキュメント、Web Intelligence ドキュメント、またはカスタムコード データ プロバイダがあります。

**名前付きセット**

MDX 式 (ネイティブメンバーセット)、またはメンバーセクタ (ビジネスメンバーセット) を使用して定義したメンバーの集まり。

**委任管理者**

BusinessObjects Enterprise のオブジェクトを管理するために管理権限のサブセットを付与されているユーザー。

**属性**

.unx ユニバースで、ディメンションに関する追加の説明情報を提供する、ディメンションに添付されたオブジェクトです。属性は、.unx ユニバースでの詳細に相当します。

**所有者権限**

主体が所有するオブジェクトにのみ適用される権限。

**接続[セツゾク]**

1 つまたは複数の BusinessObjects アプリケーションがリレーショナルまたは OLAP データベースミドルウェアにアクセスする方法を定義する名前の付いたパラメータのセット。

**接続ショートカット**

インフォメーションデザインツールで、Central Management Server に保存されたセキュリティ接続に対する、ローカルプロジェクト内での参照。

**接続プール**

データソースへの接続を再利用できるように、Connection Server によって管理されるデータベース接続キャッシュ。

**時系列ディメンション**

たとえば、年、学期、四半期、月、週、日 (年単位)、日 (月単位)、曜日など既知のレベルの階層として定義されるユニバース内のディメンション。

**暗号化キー**

CMS リポジトリ内でデータオブジェクトを保護するために使用する暗号キー。

#### 標準テーブル

データファンデーションまたはスキーマに、接続内のデータベーステーブルから直接追加されるテーブル。

#### 権限の上書き

サブオブジェクトまたはグループ メンバーに対する権限の設定が、それぞれオブジェクトまたはグループの対応する権限設定に優先される動作。

#### 権限の分離

バージョン 6.x からバージョン XI R2 への移行中に、元のオブジェクトで明示的に設定されていなかった権限を、移行されるオブジェクトに対して設定すること。

#### 派生テーブル[ハセイトーブル]

1 つ以上の標準テーブルに対する SQL クエリによって定義されるデータファンデーションまたはユニバーススキーマの中のテーブル。

#### 結合パス[ケツゴウパス]

結合によってリンクされたテーブルのデータにアクセスしてクエリを実行するための一連の結合。

#### 継承

グループまたはフォルダ上に設定されたアクセス権が、BusinessObjects Enterprise 内のサブグループ、サブフォルダ、個々のユーザーとファイルに渡される方法。

#### 複数ソース有効

ユニバースを設計するために複数のリレーショナルソースにアクセスできるデータファンデーションのタイプ。

#### 計算メジャー

MDX 式を使用して計算されるメジャー。

#### 計算メンバー

明示的に定義された式、または指定引数やダイアログボックスの操作によって生成された式を使用して計算されたディメンションまたは階層のメンバー。

#### 計算列

テーブルの他の列間の計算の結果として、データファンデーション標準テーブルに定義された列。

#### 詳細

.unv ユニバースで、ディメンションについて説明するデータを提供するオブジェクト。詳細は、.unv ユニバースで属性に相当します。

#### 詳細アクセス権

主体のアクセス レベルの対応する権限を上書きするために設定される詳細権限。

#### 購読

アラートまたはパブリケーションのための購読者リストに自分自身や他のユーザを追加すること。

#### 購読解除

アラートまたはパブリケーションのための購読者リストから自分自身や他のユーザを削除すること。

#### 配信ルール

パブリケーション内のドキュメントがどのように処理および配布されるかを定義する設定。

## 階層

レベルまたは親子関係に配列されたメンバーの集まり。

## 集計フィールド

時系列または他の列内のソース値に基づいた計算値を含むデータベース列。

## 集計認識[シュウケイニンシキ]

データベース内の集計テーブルのクエリ最適化をユニバースが使用できるようにするユニバース品質。集計認識は、@Aggregate\_Aware 関数を使用して定義されます。

## [新しい接続]ウィザード

データのソースへの接続の作成プロセスを誘導する Business Objects アプリケーションコンポーネント。



## インフォメーションデザインツールの用語集

### LOV

ユニバースでオブジェクトに関連付けられるデータ値の集まりで、ユーザは、そのオブジェクトに対するフィルタの値を選択できます。「値の一覧」も参照してください。

### measure

ユニバースで、1 つ以上のディメンションから派生した、通常は数値である値。

### インデックス認識

データの取得を高速化する目的で、ユニバースがデータベーステーブルのキー列にクエリを生成できるようにするためのユニバース機能。

### インフォメーションデザインツール

複数接続や階層ディメンションなどの追加機能を持ったユニバースを作成するために使用される SAP メタデータデザインツール。

### エイリアステーブル

ユニバーススキーマまたはデータファンデーションで、テーブル間の複数の結合パスを解決するために使用される別名の付いた標準テーブルのコピー。

### カタログ

ソースから独立した SQL 式でリレーショナルデータソースを識別するための一意の名前。

### クラス

ユニバースで共通の目的を持つ関連オブジェクトを含むユーザが定義したフォルダ。

### ショートカット結合

2 つのテーブル間の代替パスを提供し、中間テーブルを考慮に入れない結合。

### ストラテジ

インフォメーションデザインツールで、SAP NetWeaver BW インフォプロバイダのテーブルと結合の自動検知と、データファンデーションへの自動挿入。

### データセキュリティプロファイル

データファンデーションで定義されたアクセス資格の集まりで、ユーザに割り当てられるとデータへのアクセスを保護します。

### データファンデーション

リレーショナルデータベースからテーブルおよび結合を定義するスキーマ。データファンデーションは、コンテキスト、プロンプト、計算列、およびその他の SQL 定義によって拡張され、ユニバースのビジネスレイヤの作成に使用されます。

### データファンデーションビュー

データファンデーションでユーザが定義したテーブルと結合のサブセットの視覚的表示。

### ナビゲートパス

Interactive Analysis でドリル分析を実行するために使用する階層的に関連のあるディメンションの集まり。

#### ネイティブフィルタ

インフォメーションデザインツールで、データファンデーションのテーブルおよび列(さらに特定の場合はビジネスレイヤ)を参照できるデータベース言語 (SQL など) で式を使用して作成されるフィルタ。ユニバースデザインツールでは条件と呼ばれます。

#### ビジネスセキュリティプロファイル

ビジネスレイヤのオブジェクトに定義されたアクセス資格の集まりで、ユーザに割り当てられるとユニバース内のオブジェクトを保護します。

#### ビジネスフィルタ

ビジネスレイヤエディタで作成されたフィルタで、ビジネスレイヤ内のオブジェクトのみを含む式で作られています。

#### ビジネスレイヤ

データベースの SQL 定義にマップされるオブジェクト (ディメンション、階層、メジャー、属性、定義済みの条件) の集まり。データファンデーションまたは OLAP キューブに作成されたビジネスレイヤ。ビジネスレイヤの基本的役割は、ユニバースとして公開される前にメタデータレイヤを定義して編成することです。

#### ビジネスレイヤビュー

ビジネスレイヤでユーザが定義したフォルダとオブジェクトのサブセット。

#### ファミリ

データファンデーションでテーブルを視覚的にグループ化するために使用されるテーブル表示プロパティのセット。

#### リソース

インフォメーションデザインツールで、たとえばビジネスレイヤ、データファンデーション、または接続など、ツールを使って構築した高レベルのメタデータオブジェクト。

#### ループ[ループ]

結合によってスキーマまたはデータファンデーション内のテーブル間で複数のパスが作成される状況。

#### レベル

階層のルートから同じ距離にある階層のメンバーの集まり。

#### 値の一覧

ユニバースでオブジェクトに関連付けられるデータ値の集まりで、ユーザは、そのオブジェクトに対するフィルタの値を選択できます。「LOV」も参照してください。

#### 分析ディメンション

.unx ユニバースで、分析の軸を表す同じタイプのユニバースの集まりで、多くの場合、階層分析を行うために使用されます。

#### 名前付きセット

MDX 式 (ネイティブメンバーセット)、またはメンバーセクタ (ビジネスメンバーセット) を使用して定義したメンバーの集まり。

#### 属性

.unx ユニバースで、ディメンションに関する追加の説明情報を提供する、ディメンションに添付されたオブジェクトです。属性は、.unx ユニバースでの詳細に相当します。

#### 接続[セツゾク]

1 つまたは複数の BusinessObjects アプリケーションがリレーショナルまたは OLAP データベースミドルウェアにアクセスする方法を定義する名前の付いたパラメータのセット。

#### 接続ショートカット

インフォメーションデザインツールで、Central Management Server に保存されたセキュリティ接続に対する、ローカルプロジェクト内での参照。

#### 時系列ディメンション

たとえば、年、学期、四半期、月、週、日 (年単位)、日 (月単位)、曜日など既知のレベルの階層として定義されるユニバース内のディメンション。

#### 標準テーブル

データファンデーションまたはスキーマに、接続内のデータベーステーブルから直接追加されるテーブル。

#### 派生テーブル[ハセイテーブル]

1 つ以上の標準テーブルに対する SQL クエリによって定義されるデータファンデーションまたはユニバーススキーマの中のテーブル。

#### 結合パス[ケツゴウパス]

結合によってリンクされたテーブルのデータにアクセスしてクエリを実行するための一連の結合。

#### 複数ソース有効

ユニバースを設計するために複数のリレーショナルソースにアクセスできるデータファンデーションのタイプ。

#### 計算メジャー

MDX 式を使用して計算されるメジャー。

#### 計算メンバー

明示的に定義された式、または指定引数やダイアログボックスの操作によって生成された式を使用して計算されたディメンションまたは階層のメンバー。

#### 計算列

テーブルの他の列間の計算の結果として、データファンデーション標準テーブルに定義された列。

#### 詳細

.unv ユニバースで、ディメンションについて説明するデータを提供するオブジェクト。詳細は、.unv ユニバースで属性に相当します。

#### 階層

レベルまたは親子関係に配列されたメンバーの集まり。

#### 集計認識[シュウケイニンシキ]

データベース内の集計テーブルのクエリ最適化をユニバースが使用できるようにするユニバース品質。集計認識は、@Aggregate\_Aware 関数を使用して定義されます。





## BI ワークスペースの用語集

### BI ワークスペース

SAP BusinessObjects BI ワークスペースで、ビジネスに関する情報を含んだモジュールおよびオブジェクトの Web ベースの表示で、ユーザはモニタリング、分析、ビジネスアクティビティの単一ビューでの表示を提供できるようになります。

### BI ワークスペース

ユーザがモジュールや BI ワークスペースを使ってビジネスアクティビティやパフォーマンスを追跡できるようにするための、SAP BusinessObjects Enterprise アプリケーション。

### module

詳細なデータ分析のためのインタラクティブビジュアライゼーションアプレットを通してデータを挿入する構築済みの分析テンプレート。

### アナリティクス

データからビジネスの見通しを引き出し、警告、一覧、および対話型データビジュアライゼーションアプレットを作成するための構築済みの分析テクニック。

### モジュールライブラリ

ユーザがそこから BI ワークスペースレイアウトにモジュールをドラッグアンドドロップできる、さまざまな種類のモジュールと BI ワークスペースを保存するツールボックス。



## SAP BusinessObjects Mobile の用語集

### J2ME

携帯電話や PDA など、リソースが制約された小型デバイス用のソフトウェアを開発するために、Java API の認定コレクションを提供することを目的とした Java プラットフォームのサブセット。「Java 2 Micro Edition」も参照してください。

### JAD ファイル

一般に、携帯電話にダウンロードできる Java アプリケーションやゲームをパッケージ化するために使用されるファイル。JAD ファイルは、JAR ファイルとして配布される MIDlet (Java ME アプリケーション) を記述します。「Java Application Descriptor ファイル」も参照してください。

### Java 2 Micro Edition

携帯電話や PDA など、リソースが制約された小型デバイス用のソフトウェアを開発するために、Java API の認定コレクションを提供することを目的とした Java プラットフォームのサブセット。「J2ME」も参照してください。

### Java Application Descriptor ファイル

一般に、携帯電話にダウンロードできる Java アプリケーションやゲームをパッケージ化するために使用されるファイル。JAD ファイルは、JAR ファイルとして配布される MIDlet (Java ME アプリケーション) を記述します。「JAD ファイル」も参照してください。

### MIDlet

埋め込みデバイス用の Java プログラムであり、より具体的には Java ME 仮想マシン。一般に、これらは携帯電話で実行されるゲームおよびアプリケーションです。

### エミュレータ

特定のシステムと同じ入力を受け入れ、同じ出力を生成するデバイス、コンピュータプログラム、またはシステム。



## SAP Crystal Reports 2011 の用語集

### Crystal Reports

ユーザーがさまざまな機能を持つレポートを作成し、それらを Web および Windows アプリケーションに統合するための支援を行うレポートング ツール。

### Java Database Connectivity

Sun Microsystems により開発された Java API で、開発者の Java コードとデータベース間のインターフェイスの役割を果たします。開発者が指定のデータベースへの接続、データベース情報のリクエスト、およびデータベースの情報の選択を行うために使用するメカニズムを提供します。「JDBC」も参照してください。

### JDBC

Sun Microsystems により開発された Java API で、開発者の Java コードとデータベース間のインターフェイスの役割を果たします。開発者が指定のデータベースへの接続、データベース情報のリクエスト、およびデータベースの情報の選択を行うために使用するメカニズムを提供します。「Java Database Connectivity」も参照してください。

### Null

特定のレコードのデータベース フィールド内に値がないこと。0 は 1 つの値だからです。

### ODBC

Microsoft Corporation によって開発された標準。アプリケーションから利用できるインターフェイスで、SQL をサポートしているデータ管理システムであれば、どのシステムからでも ODBC 経由でデータを取得できます。これにより、データベース管理システムに依存しないアプリケーションの開発、コンパイル、および出荷が可能になります。「Open Database Connectivity」も参照してください。

### Open Database Connectivity

Microsoft Cooperation によって開発された標準。アプリケーションから利用できるインターフェイスで、SQL をサポートしているデータ管理システムであれば、どのシステムからでも ODBC 経由でデータを取得できます。これにより、データベース管理システムに依存しないアプリケーションの開発、コンパイル、および出荷が可能になります。「ODBC」も参照してください。

### アンマネージド レポート

ローカル ファイル システムに存在し、ファイル パスによってプログラムでアクセスされる Crystal レポート ファイル (.rpt)。

### エキスパート

一連のタブを使用することで、レポートの作成に必要なさまざまな作業を行うことができるツール。最初のタブから始めて、順に残りのタブへ進んでください。

### カスタム関数

データの評価、計算、または変換を行うために作成するプロシージャ。式にこの関数を使用すると、式の中で個々の演算を指定しなくても、カスタム関数に定義されているすべての演算を実行

できます。つまり、式のロジックを共有したり再利用したりできるため、より短い時間で簡単にレポートを作成できます。

#### クロスタブ

データの集計値を簡潔な表形式で表示するレポート コンポーネント。データの比較や傾向の分析に役立ちます。

#### ダイナミック プロンプト

ユーザーに対する情報の要求であり、ドキュメントに表示されるデータを決定する可能性のあるオブジェクトを表示したときに表示されることがあります。

#### テキスト オブジェクト

テキスト、データベース フィールド、および式フィールドを挿入できる特殊なオブジェクト。テキスト オブジェクトは独自の簡易ワード プロセッサ機能を備えており、ラベルの追加から本格的なドキュメントの作成まで、さまざまな目的に使用できます。

#### データ フィールド

レコードの基本構成要素。

#### パラメータ フィールド

ユーザーに入力を要求する特殊なフィールド。

#### フォーム レター

プログラムの強力なテキスト オブジェクト機能を使用して再生成、パーソナライズ、およびカスタマイズできる文字。通常は、テキスト値とフィールド値の両方を含みます。

#### プロンプト グループ

カスケード プロンプトに必要な個々のプロンプトを保持するコンテナ。

#### マネージド レポート

BusinessObjects Enterprise CMS リポジトリに存在する Crystal レポート ファイル(.rpt)であり、InfoObject クラスのインスタンスを通じてプログラムでアクセスされます。

#### リンク

複数のデータベースに共通のフィールドであり、これらのデータベースの接続ポイントとして使用されます。

#### レコード

関連する情報の完全な単位。特定のエンティティのすべてのデータを保持する電子ファイルフォルダ。必要なデータが設定されたフィールドが 1 つ以上あります。

#### レポート

整理されたデータ表示。

#### レポート パーツ

レポート ページの他の部分を表示せずに、ビューアに単体で表示されるレポート オブジェクト。

#### ワイルドカード

検索文字列内の任意の文字を表す文字(?)。または、文字のグループを表す文字(\*)。

#### 大文字と小文字の区別

大文字と小文字を区別すること。プログラムは、テキスト文字列を評価するときに、大文字と小文字を区別します。

#### 対話型パラメータ

ユーザーがデータベースから情報を更新せずにパラメータ値を変更できるようにする Crystal Reports の機能。この機能の主な利点は、データベースに対する処理を必要とせずに、レポートキャンバスにガイド付きの対話性を提供できることです。

#### 式ワークショップ

ほとんどの種類の式を作成および編集するために使用される機能。これは、ツールバー、作成または編集できる式の種類を一覧に示すツリー、および式を定義する領域で構成されています。作成する式の種類によって、式を定義する領域は異なります。

#### 条件付き書式設定

特定の条件下でのみ適用される書式の種類。

#### 評価時期

式が評価されるときのレポーティング プロセスのステージ。

#### 選択式

レポートに含めるレコードやレコードの集合を指定する式。

#### 部分文字列

より大きな文字列の一部。





## データフェデレーション管理ツールの用語集

### bind 結合

データフェデレーションで使用される操作で、転送される結果数を減らすために大量のデータに対するクエリに少数のデータセットを使って追加のパラメータを提供します。

### merge 結合

テーブルの結合にかかる時間を短縮するために、2 つの大規模なデータテーブルを結合前にソートする、データフェデレーションで使用される操作。

### キー制約

テーブル内のすべてのキーが一意であることを検証する制約。

### ケース

ケース文での (If, Then) 条件とアクションの組み合わせ。

### ケース式

ケース文内の式。

### ケース文

条件に基づいて異なるケースを扱うマッピング ルール。

### コア テーブル

ターゲット テーブルのキーにマップされる列を持つデータソース テーブル。

### コンポーネント

Data Federator Designer ワークスペースで操作する要素。ターゲット、データソース、マッピング、制約、ドメイン テーブル、ルックアップ テーブルのいずれかです。

### サンプル ターゲット テーブル データ

予想される結果と実際の結果を比較するために制約チェックで使用されるデータ。

### サンプル データソース テーブル データ

ソースから抽出されることが予想されるデータと、Data Federator がソースから抽出するデータを比較するために、制約チェックで使用されるデータ。

### データアクセス アプリケーション

Data Federator またはその他のアプリケーションがデータにアクセスできるようにする、データベース、書式なしファイル、またはその他のアプリケーションの総称。

### データソース

データのソースへのポインタ。データアクセスアプリケーションに保持されるデータを指して表します。

### データソースカタログ

データソースのコレクション。

### ドメイン

列の許容値のセット。ドメインでは、タイプよりも厳格に許容値を定義できます。

ドメイン テーブル

Data Federator 内のドメインを定義するテーブル。

ドラフト データソース

処理するデータソース。ドラフトデータソースは変更できますが、マッピングには使用できません。

ファンアウト

列間の関係で、最初の列の各エントリに関連する 2 番目の列のエントリの平均数。

フィルタ

返されるデータを制限する式。

プッシュ

ある操作の実行のためにソースデータベースをリクエストすることです (データフェデレーションエンジン内で操作を実行するのではなく、ソースデータベースで操作を実行すると、一般的に、データフェデレーションエンジンで実行するより効率的です)。

プライマリ キー

一意の値が含まれることが保証される列であり、その値はテーブル内のすべての行を識別します。

プライマリ キー制約

列のすべての値が一意である必要があることを規定する制約。

プレフィルタ

データソースからのデータを制限するフィルタ。マッピング式の前にデータに適用されます。

ポストフィルタ

マッピングルールの結果を制限するフィルタ。ポストフィルタは、テーブル関係の後にデータを操作します。

ルックアップ テーブル

Data Federator で作成し、内容を入力するテーブル。ルックアップ テーブルは、値の列を別の値列にマップします。

制約

マッピングのプロパティを検証するために Data Federator で定義するテスト。

半結合

2 つのテーブル間の操作で、2 番目のテーブルの少なくとも 1 行と一致する 1 番目のテーブルの行を返します。つまり、1 番目のテーブルが、2 番目のテーブルの行でフィルタ処理されます。

最終データソース

変更できないデータソースであり、マッピングで使用できます。

条件式

マッピング式では、条件を含む式 (“if ...” と “then...” など)。

絞り込みクエリ

データフェデレーションで使用されるクエリで、最終結果を計算するために基となるソースからのデータ転送がほとんど必要なく、少数の結果を返します。

統計

データフェデレーションに使用されるソースに保存されたデータに関する数値情報で、テーブル内のエントリ予想数、列内の固有の値の予想数、ある列と他の列の各値間の関係の平均数などがあります。

複合行

2 つ以上のデータソーステーブルにおけるデータベース結合操作から得られた行。

関数式

マッピング式で、値に対して関数を実行する式。

非 Null 制約

列の値のいずれも Null でないことを検証する制約。



# 索引

## B

BI アナリスト 19  
BI 起動パッド 19  
BI 受信ボックス 19  
BI ビューア 19  
BI ワークスペース 33  
bind 結合 41  
BusinessObjects Enterprise Premium ソフトウェアのエンサイクロペディアコンポーネント 19

## C

case 41  
case 文 41  
case 文式 41  
CMS アドオン 5  
Connection Server 19  
Crystal Reports 37  
Crystal Reports Viewer 19  
Crystal Reports データコンシューマ接続 11, 15  
Ctrl クリック 5

## D

DDK 19  
Driver Development Kit 19

## F

FIPS 準拠モード 19

## J

J2ME 35  
JAD ファイル 35  
Java 2 Micro Edition 35  
JavaBean ドライバ 19  
JDBC」を参照) 37  
Java Database Connectivity(「 37  
JavaBean 19

## L

LOV 19, 29

## M

merge 結合 41  
MIDlet 35

## N

NULL 37

## O

ODBC (「 37  
Open Database Connectivity」を参照 37

## P

PDF 5  
PDF 形式 5

## S

SAP キー数値 5  
SAP キー日付 5  
SAP 変数 5

## W

Web アプリケーションサーバコンポーネント 5  
web サーバ 5

## あ

アートおよび背景コンポーネント 11, 15  
アクセス権 19  
アクセス権の安全な変更権限 19  
アクセス権の範囲 19  
アクセス権の変更権限 19  
アクセスコントロールリスト 19  
アクセスレベル 19  
値の一覧 19, 29  
アナリティクス 33  
アプリケーションサーバ 5  
アラート 19  
アラート通知 19  
暗号化キー 19  
アンマナージドレポート 37

## い

一次キー 41  
委任管理者 19  
イベント 19  
インデックス化 5  
インデックス認識 19, 29  
インフォメーションデザインツール 19, 29

## う

[内訳]ボタン 5  
埋め込みスプレッドシート 11, 15

## え

エイリアステーブル 19, 29  
エキスパート 37  
閲覧インタフェース 5  
閲覧ファセット 5  
エミュレータ 35  
エンサイクロペディア 19

## お

オーブンドライバ 19  
大文字と小文字が区別される 37  
オブジェクト 5, 19

## か

階層 19, 29  
ガイド分析 19  
カスタム関数 37  
カタログ 19, 29  
カテゴリ ファセット 5  
カレンダー コンポーネント 11, 15  
関数式 41  
管理権限 5

## き

キー制約 41  
キーの無効化 19  
キーワード検索 5  
キャンバス 11, 15  
キャンバスコンテナコンポーネント 11, 15  
キューブ 19

強調表示 5  
寄与率分析タイプ 5

## く

区切り線 5  
組み合わせチャート 11, 15  
クラス 19, 29  
クラスタキー 19  
グラフの種類 5  
クロスタブ 37

## け

傾向変動分析タイプ 5  
警告 19  
計算メジャー 19, 29  
計算メンバー 19, 29  
計算列 19, 29  
継承 19  
計数ファセット 5  
結合パス 19, 29  
権限の上書き 19  
権限の分離 19  
検索エンジン 5  
検索結果 5  
検索語句 5  
検索サーバ 5

## こ

コアテーブル 41  
公開ウィザード 19  
購読 19  
購読解除 19  
候補ファセット 5  
コンテキスト 19  
コンテナコンポーネント 11, 15  
コンテンツ検索ファセット 5  
コントロール 5  
コンポーネント 11, 15, 41  
コンポーネントブラウザ 11, 15  
コンボボックスコンポーネント 11, 15

## さ

最終データソース 41  
作成権限 5  
サンプルターゲットテーブルデータ 41  
サンプルデータソーステーブルデータ 41

## し

式ワークショップ 37  
時系列ディメンション 19, 29

絞り込みクエリ 41  
集計値 5  
集計認識 19, 29  
集計フィールド 19  
準結合 41  
条件式 41  
条件付き書式設定 37  
詳細 19, 29  
詳細アクセス権 19  
情報スペースの所有者 5  
ショートカット結合 19, 29  
所有者権限 19  
[新規接続]ウィザード 19

## す

スケジューリング 5  
スケジュール 19  
スコア 5  
ストラテジー 19, 29  
スペースの管理 5

## せ

制約 41  
接続 19, 29  
接続最新表示ボタン 11, 15  
接続ショートカット 19, 29  
接続プール 19  
セマンティック層 19  
選択式 37  
選択ファセット 5

## そ

ソース言語 19  
ソースドキュメント 19  
属性 19, 29

## た

ターゲットアナリティクス 19  
ダイナミックプロンプト 37  
タイプ固有権限 19  
ダイヤル コンポーネント 11, 15  
対話型パラメータ 37  
ダッシュボード 19  
縦棒チャート 11, 15  
タブ 5

## ち

チェックボックスコンポーネント 11, 15  
チャートコンポーネント 11, 15

## つ

ツールヒント 5

## て

提出 19  
データ アクセスドライバ 19  
データ ファンデーション 19, 29  
データアクセスアプリケーション 41  
データアクセスネットワークレイヤ 19  
データアニメーション 11, 15  
データセキュリティプロファイル 19, 29  
データソース 41  
データソースカタログ 41  
データテーブル 5  
データファンデーションビュー 19, 29  
データフィールド 37  
データベース 5  
データベースミドルウェア 19  
テキストオブジェクト 37  
デュアルスライドコンポーネント 11, 15

## と

統計情報 41  
動的受信者 19  
動的受信者ソース 19  
ドメイン 41  
ドメインテーブル 41  
ドラフトデータソース 41  
トランスレーションマネジメントツール 19  
ドリル 19  
ドロワ 19

## な

ナビゲートパス 19, 29  
名前付きセット 19, 29

## に

認証の種類 5

## ね

ネイティブフィルタ 19, 29  
ネットワークレイヤ 19

## は

パーソナライゼーション 19  
背景コンポーネント 11, 15  
配信ルール 19

ハイパーリンク 19  
 派生テーブル 19, 29  
 パラメータフィールド 37  
 凡例 5

## ひ

非 NULL 制約 41  
 比較分析タイプ 5  
 ビジネスセキュリティプロファイル 19, 29  
 ビジネスダッシュボード 19  
 ビジネスフィルタ 19, 29  
 ビジネスレイヤ 19, 29  
 ビジネスレイヤビュー 19, 29  
 ビジュアライゼーション 5  
 ビューア 19  
 ビュレットチャート 11, 15  
 評価時期 37  
 表示権限 5  
 標準テーブル 19, 29  
 ビン 19

## ふ

ファセット 5  
 ファセットによるナビゲーション 5  
 ファミリ 19, 29  
 ファンアウト 41  
 フィールド 37  
 フィルタ 41  
 フォーム レター 37  
 フォールバックロケール 19  
 フォルダ 5  
 複合行 41  
 複数ソース有効 19, 29  
 プッシュ 41  
 部分文字列 37

プライマリキー制約 41  
 ブレッドクラム 5  
 プレフィルタ 41  
 プロパティ 5  
 プロファイルターゲット 19  
 プロファイル値 19  
 プロンプトグループ 37  
 分析タイプ 5  
 分析ディメンション 19, 29

## ほ

棒チャート 11, 15  
 ホーム 5  
 ポストフィルタ 41

## ま

マネージドレポート 37

## め

メジャー 19, 29  
 メタデータ 19  
 面チャート 11, 15

## も

モジュール 33  
 モジュールライブラリ 33  
 モデル 11

## ゆ

ユーザー グループ 19  
 優先表示ロケール 19

優先ロケール 19  
 ユニバース 19

## ら

ラベル 5

## り

リソース 19, 29  
 リンク 37

## る

ループ 19, 29  
 ルックアップテーブル 41

## れ

レコード 37  
 レベル 19, 29  
 レポート 37  
 レポートバースト 19  
 レポートパーツ 37

## ろ

ログオフ 5  
 ログオン 5  
 ロケール 5

## わ

ワイルドカード 37

